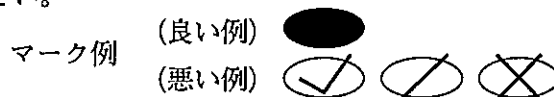


令和5年度（令和4年度実施）
 高知県公立学校教員採用候補者選考審査
 筆記審査（専門教養）
 高等学校 特別支援学校 高等部
 商業

受審番号		氏 名	
------	--	-----	--

【注意事項】

- 1 審査開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないでください。
- 2 解答用紙（マークシート）は2枚あります。切り離さないでください。
- 3 解答用紙（マークシート）は、2枚それぞれに下記に従って記入してください。
 ○ 記入は、HBの鉛筆を使用し、該当する○の枠からはみ出さないよう丁寧にマークしてください。



- 訂正する場合は、消しゴムで完全に消してください。
- 氏名、受審する教科・科目、受審種別、受審番号を、該当する欄に記入してください。

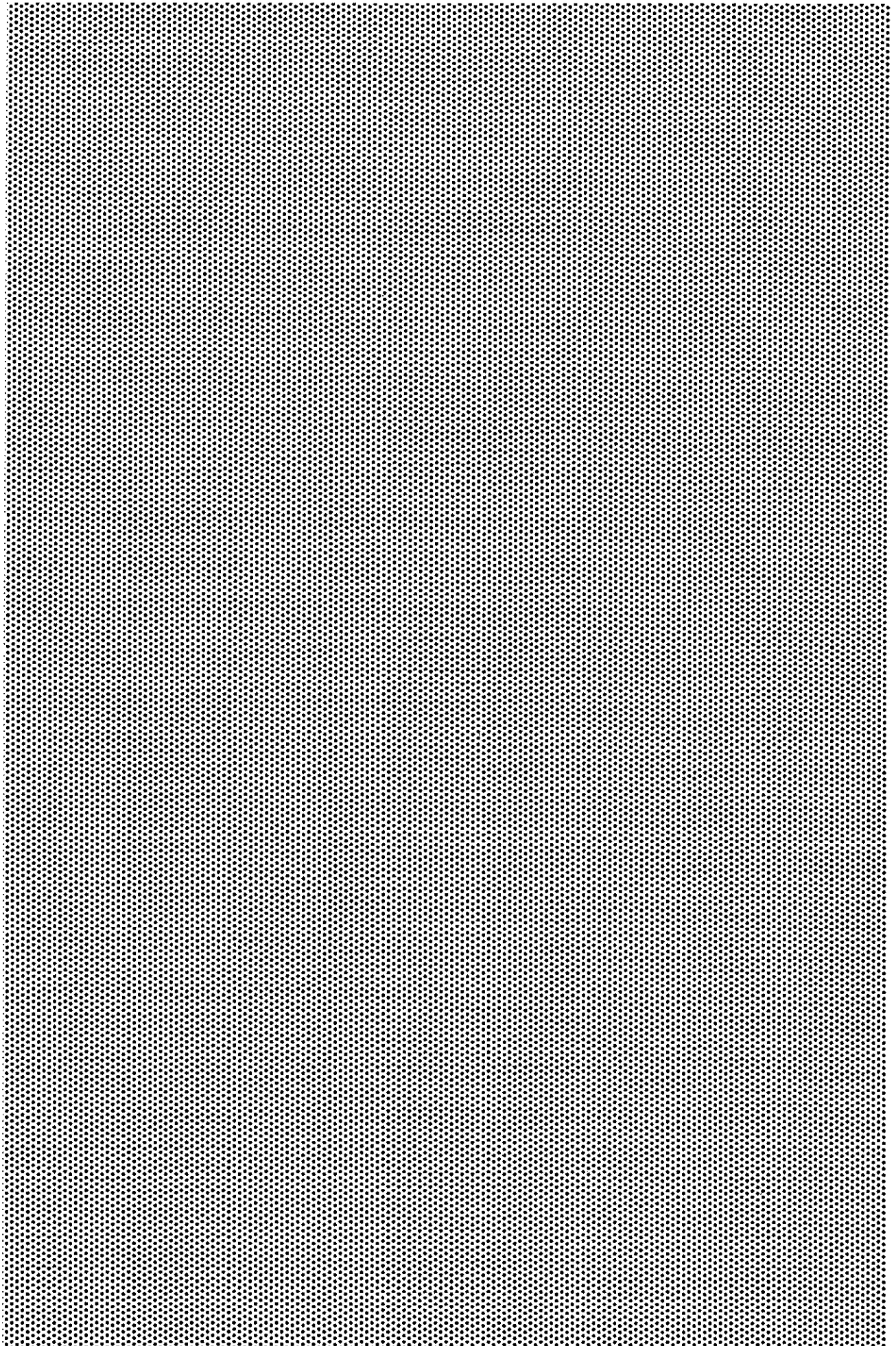
また、併せて、右の例に従って、受審番号をマークしてください。

受 審 番 号				
万	千	百	十	一
1	2	3	4	5
○	○	○	○	○
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	●	○	○
○	○	○	●	○
○	○	○	○	●

記入例

（受審番号12345の場合）

- 4 この問題は、【共通問題】、及び【選択問題 高等学校】、【選択問題 特別支援学校】の各問題から構成されています。選択問題で受審種別以外の問題を選択して解答した場合、解答は全て無効となります。
- 5 解答は、解答用紙（マークシート）の解答欄をマークしてください。解答については、本冊子の裏表紙の＜解答上の注意＞をお読みください。ただし、問題冊子は開かないでください。



【共通問題】

第1問 基礎的科目とマーケティング・ビジネス経済に関する内容について1～3の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の問いに答えなさい。

(1) 商業の学習分野の組み合わせとして適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a マーケティング分野, ビジネス経済分野, 会計分野, 情報処理分野
- b マーケティング分野, マネジメント分野, 簿記会計分野, ビジネス情報分野
- c マーケティング分野, マネジメント分野, 会計分野, ビジネス情報分野
- d マーケティング分野, マネジメント分野, 簿記会計分野, 情報処理分野

(2) モノ(物)がインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組みを何と呼ぶか。次のa～dから一つ選びなさい。

- a IoT b B to C c ICT d B to B

(3) ビジネス文書の作成例として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 文書の発信者名は、文書の受信者名よりも上の行位置に入力する。
- b 文書頭に文書番号と発信日を右寄せで入力する。
- c 頭語「拝啓」の場合の結語は「草々」である。
- d ビジネス文書に文書の受信者名は記入する必要はない。

(4) 新入社員のAさんが取引先を訪問し、B社長とはじめて面会する際の一般的な名刺交換の手順として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 訪問した側のAさんが先に差し出す。
- b 訪問された側のB社長が先に差し出す。
- c 訪問した側のAさんや訪問された側のB社長に関係なく、同時に差し出す。
- d 訪問した側のAさんや訪問された側のB社長、どちらが先に差し出してもよい。

2 次の(1)～(5)の問いに答えなさい。

(1) 他社の商品と区別するために小売業者が企画する独自のブランド(商標)として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a ナショナル・ブランド
- b コーポレート・ブランド
- c プライベート・ブランド
- d ジェネリック・ブランド

(2) スーパーマーケットの説明として適切なものを、次のa～dから一つ選びなさい。

- a 一般の医薬品を主に取り扱い、美容用品や健康用品、日用雑貨等も取り扱う小売業者
- b セルフサービス方式を採用し、主に食料品の廉価販売を行う小売業者
- c 特定の消費者層をターゲットに絞り込み、その分野に特化した品ぞろえを行う小売業者
- d 総合的な品ぞろえで、通常の小売価格より割り引いて販売する小売業者

(3) 次の①～③の項目に投じられる資金は、設備資金あるいは運転資金のいずれかに該当するものである。該当する資金の組み合わせとして正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

- ① テレビCMの代金
- ② アルバイトに支払う給料
- ③ 車両運搬具の購入代金

- a ① 運転資金 ② 運転資金 ③ 設備資金
- b ① 設備資金 ② 運転資金 ③ 設備資金
- c ① 運転資金 ② 設備資金 ③ 運転資金
- d ① 設備資金 ② 設備資金 ③ 運転資金

(4) 額面¥1,500,000の約束手形を1月7日に割引率年2%で割り引くと、手取り金はいくらになるか。 , , , にあてはまる数字を答えなさい。ただし、満期日は3月20日とする。(平年、両端入れ、割引料の円未満切り捨て)

¥ , ,000

(5) 訪問相手に対して英語で受付対応するとき、「お約束はされていますか?」と尋ねる時の英文として適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a What can I do for you ?
- b Do you have an appointment ?
- c Could you fill in this form, please ?
- d We've been expecting you.

3 次の (1) ～ (4) の問いに答えなさい。

(1) 次の文は、補完材と代替材に関連した事柄について述べたものである。文中の下線部①と②、下線部②と③の関係として適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

サラリーマン A は、毎日朝食として、①パンに②バターを塗っていたが、バターの価格の高騰により節約のため、①パンに③マーガリンを塗るようになった。

- a 下線部①と②は補完材の、下線部②と③は代替材の関係にある。
- b 下線部①と②は代替材の、下線部②と③は補完材の関係にある。
- c 下線部①と②も下線部②と③も、ともに補完材の関係にある。
- d 下線部①と②も下線部②と③も、ともに代替材の関係にある。

(2) 次の文は、財政制度の仕組みに関して述べたものである。 に該当する語句として適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

景気は、上昇し続けることも下降し続けることもなく、長期的には上昇と下降を繰り返している。過度な変動は好ましいものではなく、政府は総需要を調整して景気を安定させることがあるが、経済にはもともと、累進課税や社会保障制度など、景気変動を自動的に調整する仕組みが組み込まれており、これを と呼ぶ。

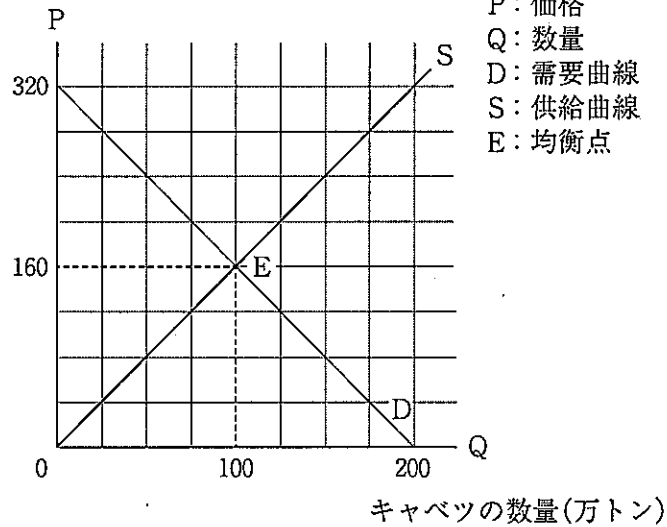
- a インフラストラクチャー
- b コンプライアンス
- c ビルト イン スタビライザー
- d コーポレートガバナンス

(3) 生産や消費といった、経済活動に利用されるものを財と呼ぶが、無形財の組み合わせとして適切なものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 電気, ガス, 水素
- b 医療, 介護, 警備
- c 土地, 建物, 石油
- d 資金, 顧客, 知識

(4) 次のグラフはキャベツの市場であり、需要曲線Dと供給曲線Sが交わる点Eにおいて、需要量並びに供給量が100万トンで一致し、市場価格は均衡価格の160円となる。市場価格が120円となったと仮定すると、超過需要は何万トン発生するか。
 , にあてはまる数字を答えなさい。

キャベツの市場価格(円)



万トン

第2問 簿記・会計に関する内容について1～4の問いに答えなさい。

1 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 次の取引の仕訳として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

満期まで保有する目的で、高知商事株式会社の額面¥8,000,000の社債を、額面¥100につき¥98で買入れ、代金は買入手数料¥20,000および端数利息¥18,000とともに小切手を振り出して支払った。

	借 方		貸 方	
a	満期保有目的債券	7,840,000	当座預金	7,878,000
	支払手数料	20,000		
	有価証券利息	18,000		
b	満期保有目的債券	7,858,000	当座預金	7,878,000
	支払手数料	20,000		
c	満期保有目的債券	7,860,000	当座預金	7,878,000
	有価証券利息	18,000		
d	満期保有目的債券	7,878,000	当座預金	7,878,000

(2) 次の取引の仕訳として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

土佐鋳業株式会社は、当期首にこれまで使用してきた取得原価¥7,000,000の採掘用機械装置を除却し、廃棄処分とした。ただし、この機械装置の残存価額は¥700,000であり、予定総利用時間数は30,000時間、前期末までの実際利用時間は28,500時間であり、生産高比例法によって減価償却費を計算し、間接法で記帳してきた。なお、この機械装置の評価額は零(0)である。

	借 方		貸 方	
a	減価償却費	5,985,000	機械装置	6,300,000
	固定資産除却損	315,000		
b	機械装置減価償却累計額	5,985,000	機械装置	7,000,000
	固定資産除却損	1,015,000		
c	減価償却費	5,985,000	機械装置	7,000,000
	固定資産除却損	1,015,000		
d	機械装置減価償却累計額	5,985,000	機械装置	6,300,000
	固定資産除却損	315,000		

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の①～⑤のうち、「重要性の原則」について述べた正しい文の組み合わせはどれか。下のa～eから一つ選びなさい。

- ① 正規の簿記の原則にしたがって会計処理を行う際に、項目の性格や金額の大きさからみて重要性の乏しいものは、他の簡便な方法によることも認められている。
- ② 企業会計は、すべての取引について、正確な会計帳簿を作成しなければならない。
- ③ 利用目的の違いから異なる形式の財務諸表を作成するときは、信頼しうる会計記録に基づいて作成し、実質同一でなければならない。
- ④ 企業会計は、企業の財務状態及び経営成績に関して、真実な報告をしなければならない。
- ⑤ 少額の消耗品などについて、その購入時または払出時に、その全額を費用（消耗品費）として処理し、資産としない方法をとることができる。

a ①と⑤ b ①と② c ③と④ d ④と⑤ e ②と⑤

(2) 高知建設株式会社は、当期に、4年後完成の予定で土佐工業株式会社の工場の建設を請け負った。次の資料から当期の工事収益の金額として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。ただし、工事進行基準によること。

資 料

- I 工事収益総額は¥126,000,000であり、工事原価総額を¥84,000,000と見積もることができた。
- II 当期発生工事原価は¥21,000,000であった。

- a ¥31,500,000
- b ¥504,000,000
- c ¥21,000,000
- d ¥14,000,000

- (3) 高知商事株式会社は、令和4年4月1日に土佐商会を取得した。次の資料から「備品①」と「のれん」の金額を求め、オカキクにあてはまる数字を答えなさい。なお、土佐商会の取得直前の流動比率は250%である。

貸借対照表

土佐商会		令和4年4月1日		(単位：円)
資 産	金 額	負債及び純資産	金 額	
受 取 手 形	1,300,000	支 払 手 形	1,680,000	
売 掛 金	2,000,000	買 掛 金	()	
商 品	3,300,000	長 期 借 入 金	3,560,000	
備 品	(①)	資 本 金	6,000,000	
	()		()	

資 料

- i) 土佐商会の資産と負債の時価は、帳簿価額に等しい。
- ii) 収益還元価値を求め、取得対価とする。
- iii) 土佐商会の年平均利益額 ￥528,000
- iv) 同種企業の平均利益率 8%

備品 ①

オ カ 0万円

のれん

キ ク 万円

3 南国商事株式会社の次の資料と比較貸借対照表および株主資本等変動計算書によって、
下の(1)～(4)の問いに答えなさい。

資 料

売上高 第3期 ¥23,432,000 第4期 ¥26,904,000

比較貸借対照表

(単位：円)

資 産	第3期	第4期	負債・純資産	第3期	第4期
現金預金	1,880,000	2,500,000	支払手形	1,496,000	1,840,000
受取手形	2,580,000	2,664,000	買掛金	1,092,000	1,824,000
売掛金	1,460,000	()	未払法人税等	328,000	248,000
商品	1,324,000	1,514,000	社 債	676,000	680,000
前払費用	312,000	312,000	長期借入金	860,000	860,000
備品	()	1,960,000	退職給付引当金	292,000	332,000
土地	2,982,000	3,096,000	資 本 金	6,000,000	6,000,000
特許権	320,000	280,000	資本準備金	()	600,000
関係会社株式	800,000	800,000	利益準備金	360,000	()
長期貸付金	486,000	486,000	別途積立金	()	600,000
	()	()	繰越利益剰余金	1,800,000	()
	()	()		()	()

(第4期) 株主資本等変動計算書

南国商事株式会社

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		純資産合計
		資本準備金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金	
当期首残高	6,000,000	600,000	600,000	()	440,000	()	2,600,000 ()
当期変動額							
剰余金の配当				100,000		△1,100,000	△1,000,000 △1,000,000
別途積立金の積立					160,000	△160,000	— —
当期純利益						1,440,000	1,440,000 1,440,000
当期変動額合計	—	—	—	100,000	160,000	180,000	440,000 440,000
当期末残高	6,000,000	600,000	600,000	()	()	1,980,000	() 9,640,000

(1) 第4期の投資その他の資産合計の金額を求め、
ケ, コ, サ, シ にあてはまる数字を答えなさい。

¥ ケ, コ, サ, シ, 000

(2) 第4期の利益準備金の金額を求め、、にあてはまる数字を答えなさい。

¥ 0,000

(3) 第4期の自己資本比率を期末の自己資本を用いて求めると何%になるか。

, , にあてはまる数字を答えなさい。

%

(4) (3) で求めた自己資本比率をもとに、南国商事株式会社が安全であると判断できるものは何か。次のa～cから一つ選びなさい。

a 財政状態 b 経営成績 c 返済能力

4 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 次の取引の仕訳として正しいものを、下のa～dから一つ選びなさい。

工程別総合原価計算を採用している高知製作所は、月末に工程別総合原価計算表を作成した結果、各工程の完成品原価は次のとおりであった。

第1工程 ¥1,900,000 第2工程 ¥2,800,000

なお、各工程の完成品はすべていったん倉庫に保管しており、当月中に倉庫から第2工程（最終工程）に投入した第1工程の完成品原価は¥2,200,000である。ただし、当社では、第1工程の完成品原価をすべて第1工程半製品勘定に振り替えている。

	借 方		貸 方	
a	製 品	2,200,000	第2工程製造	2,200,000
	第2工程製造	2,800,000	第1工程半製品	2,800,000
	第1工程半製品	1,900,000	第1工程製造	1,900,000
b	製 品	2,800,000	第2工程製造	2,800,000
	第1工程半製品	1,900,000	第1工程製造	1,900,000
c	製 品	2,800,000	第2工程製造	2,800,000
	第2工程製造	2,200,000	第1工程半製品	2,200,000
	第1工程半製品	1,900,000	第1工程製造	1,900,000
d	製 品	5,000,000	第2工程製造	5,000,000
	第1工程半製品	1,900,000	第1工程製造	1,900,000

- (2) 標準原価計算を採用している高知製作所の当月における次の資料から「製造間接費差異」と「予算差異」の金額を求め、正しいものをそれぞれ下の a～d から一つずつ選びなさい。なお、金額の末尾には、不利差異の場合は（不利）、有利差異の場合は（有利）と記入されている。

製造間接費差異	ト
予算差異	ナ

資 料

① 標準原価カード（一部）

A製品 標準原価カード（製品/個あたり）			
	標準直接作業時間	標準配賦率	金額
製造間接費	30時間	¥100	¥3,000

② 生産データ

月初仕掛品	0個
当月投入	200個
合計	200個
月末仕掛品	12個（加工進捗度50%）
完成品	188個

③ 製造間接費実際発生額	¥597,000
④ 実際直接作業時間	5,900時間
⑤ 製造間接費予算	
変動費予算額	¥240,000
固定費予算額	¥360,000
基準操業度（直接作業時間）	6,000時間

ト	a ¥15,000（不利）	b ¥15,000（有利）	c ¥33,000（不利）
	d ¥33,000（有利）		

ナ	a ¥5,000（有利）	b ¥5,000（不利）	c ¥1,000（有利）
	d ¥1,000（不利）		

- (3) 土佐製作所は、A製品を1個当たり¥4,000で販売している。この製品を3,600個製造・販売した時の、直接原価計算による損益計算書は次のとおりである。「販売数量が2倍になった時の貢献利益」と「販売数量が4,000個の時の営業利益」の金額を求め、正しいものをそれぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

販売数量が2倍になった時の貢献利益

ニ

販売数量が4,000個の時の営業利益

ヌ

損益計算書		(単位：円)
土佐製作所		
I	売上高	¥14,400,000
II	変動売上原価	()
	変動製造マージン	¥3,420,000
III	変動販売費	()
	貢献利益	¥2,700,000
IV	固定費	
	1. 固定製造間接費	¥1,200,000
	2. 固定販売費及び一般管理費	¥700,000
	営業利益	¥1,900,000 ()

ニ

a ¥2,700,000

b ¥4,050,000

c ¥5,400,000

d ¥6,750,000

ヌ

a ¥800,000

b ¥1,100,000

c ¥1,400,000

d ¥1,700,000

第3問 ビジネス情報に関する内容について1～4の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(6)の説明文に該当するものとして正しいものを、それぞれ下のa～dから一つずつ選びなさい。

(1) インターネットで用いられるドメイン名のうち、主に非営利団体を対象として用いられるトップレベルドメイン。

a .com b .net c .org d .biz

(2) 無線LANのアクセスポイントと各端末の混信を避けるために用いる識別子。

a ONU b SSID c テザリング d Wi-Fi

(3) ファイル形式を識別するために付加する拡張子のうち、静止画像を点の集合として、圧縮せずに記録するファイル形式。

a BMP b JPEG c GIF d PNG

(4) サーバを用いずに構築したネットワークで、接続されたコンピュータは対等の関係で、プリンタ共有などの小規模なLANに向いている。

a ピアツーピア b クライアントサーバシステム
c CATV d グループウェア

(5) 組織内のコンピュータネットワークに対する外部からの不正な侵入を防ぐシステム。

a セキュリティホール b フルコントロール
c ファイアウォール d OSS

(6) 10進数の255と、2進数 1001011 の和を表す10進数。

a 250 b 330 c 410 d 470

2 次の(1)～(3)の問いに答えなさい。

- (1) 次の表は、鶏卵の重さを入力すると、重さに連動した規格を表示する表である。F3の「サイズ」は、D3に入力した「重さ(g)」をもとに、サイズ表を参照して表示する。F3に設定する式として適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。ただし、参照する表は昇順に並べ替えており、検索値が見つからなくてもエラー表示は行わない。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	鶏卵のサイズ						
3			重さ(g)		サイズ	0	
4	サイズ表						
5	重さ(～g以上)	0	52	58	64	70	
6	サイズ	S	MS	M	L	LL	
7							

- a =HLOOKUP(D3,B5:F6,2,TRUE) b =HLOOKUP(D3,B5:F6,2,FALSE)
 c =HLOOKUP(D3,B6:F6,2,TRUE) d =HLOOKUP(D3,B6:F6,2,FALSE)

- (2) 次の表は、あるコンピュータ製品卸売会社の商品出荷一覧表である。伝票別集計表の「総額」は、商品出荷一覧表の「金額」を「伝票番号」ごとに集計している。J4に設定する式として適切なものを、下のa～dから一つ選びなさい。ただし、J4に設定する式をJ6までコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1										
2	商品出荷一覧表						伝票別集計表			
3	伝票番号	商品コード	品名	数量	単価	金額	伝票番号	合計数量	総額	
4	1	1001	PC-101	2	¥98,000	¥196,000	1	4	272,000	
5	1	1005	DP-201	2	¥38,000	¥76,000	2	4	319,000	
6	2	1006	PR-303	1	¥25,000	¥25,000	3	4	126,000	
7	2	1001	PC-101	3	¥98,000	¥294,000				
8	3	1005	DP-201	2	¥38,000	¥76,000				
9	3	1006	PR-303	2	¥25,000	¥50,000				
10										

- a =SUMIFS(\$F\$4:\$F\$9,\$A\$4:\$A\$9,H4)
 b =SUMIFS(\$F\$4:\$F\$9,H4,\$A\$4:\$A\$9)
 c =COUNTIF(\$F\$4:\$F\$9,\$A\$4:\$A\$9,H4)
 d =COUNTIF(\$F\$4:\$F\$9,H4,\$A\$4:\$A\$9)

- (3) 次の表は、ある自動車ディーラーの売上集計表である。G4には、次の式が入力されている。

$$=IF(OR(E4>=120\%,F4>=100\%,D4>=\$D\$15),"O","")$$

この式をG14までコピーした時、「備考」に「O」と表示される数を答えなさい。

ケ

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	売上集計表							
3	種類名	前年売上台数	目標売上台数	今年売上台数	増減率	達成率	備考	
4	ウインド	4,144	4,771	1,616	39.0%	33.9%		
5	アロー	5,566	9,026	5,207	93.6%	57.7%		
6	イオタ	3,004	2,049	9,029	300.6%	440.7%		
7	オルティア	3,505	5,147	7,579	216.2%	147.3%		
8	ダイナスティ	6,400	5,493	4,371	68.3%	79.6%		
9	トレント	1,968	114	7,688	390.7%	6,743.9%		
10	プリント	6,512	6,778	7,783	119.5%	114.8%		
11	ハマー	7,970	9,349	2,782	34.9%	29.8%		
12	デイトナ	2,276	7,362	1,893	83.2%	25.7%		
13	トロネード	1,298	5,360	8,749	674.0%	163.2%		
14	ナノ	5,085	5,865	9,732	191.4%	165.9%		
15			平均売上台数	6,039				
16								
17								

- 3 次の(1)・(2)の問いに答えなさい。

- (1) あるハンバーガーショップでは、ハンバーガーの販売状況を次のようなリレーショナルデータベースを利用して管理している。次ページの①～③のSQL文によって抽出されるデータ、または、実行結果として正しいものを、a～eからそれぞれ一つずつ選びなさい。

担当者表

担当者コード	担当者名
T01	高知
T02	土佐
T03	四万十

価格表

商品コード	ハンバーガー名	単価	担当者コード
S01	ハンバーガー	250	T01
S02	チーズバーガー	300	T02
S03	メンチバーガー	280	T01
S04	フィッシュバーガー	300	T03
S05	レタスバーガー	280	T02

取扱店表

取扱店コード	取扱店名	区分
M01	高知店	百貨店
M02	土佐店	駅
M03	香南店	スーパー
M04	四万十店	百貨店
M05	南国店	スーパー

ハンバーガー売上表

取扱店コード	商品コード	売上数
M01	S01	3
M02	S02	0
M03	S03	15
M04	S04	3
M05	S05	19
M01	S01	2
M02	S02	17
M03	S03	17
M04	S04	1
M05	S05	7
M01	S01	6
M02	S02	16
M03	S03	19
M04	S04	14
M05	S05	2
M01	S01	8
M02	S02	0
M03	S03	14
M01	S01	3
M02	S02	19
M03	S03	8
M04	S04	9
M05	S05	16

① SELECT 商品コード FROM 価格表 WHERE 単価 > 280

② SELECT 取扱店コード FROM ハンバーガー売上表
WHERE 商品コード <> 'S03' AND 売上数 >= 10

③ SELECT 取扱店名, ハンバーガー名
FROM 担当者表, 価格表, 取扱店表, ハンバーガー売上表
WHERE 担当者表.担当者コード = 価格表.担当者コード
AND 取扱店表.取扱店コード = ハンバーガー売上表.取扱店コード
AND 価格表.商品コード = ハンバーガー売上表.商品コード
AND 担当者名 = '高知' AND 区分 = 'スーパー'

a

S02
S04

b

S02
S03
S04
S05

c

香南店	メンチバーガー
-----	---------

d

香南店	ハンバーガー
南国店	レタスバーガー

e

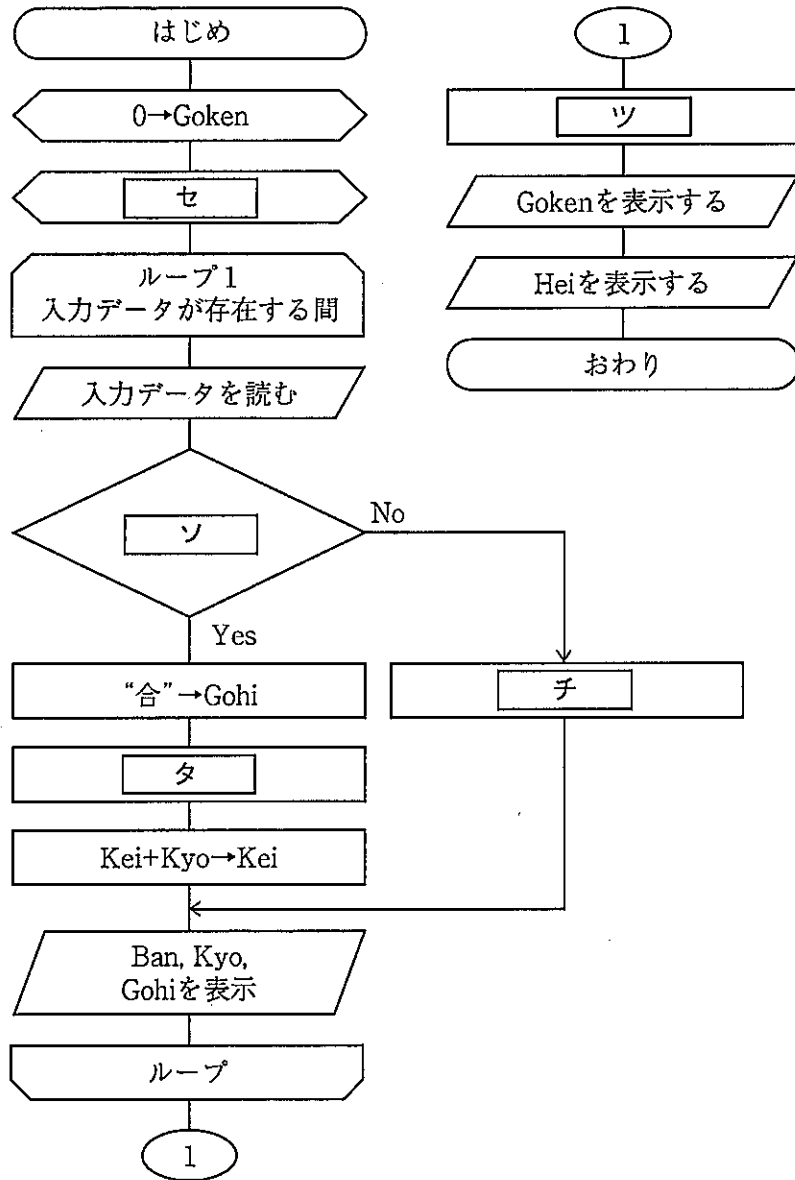
M02
M04
M05

(2) (1) のリレーショナル型データベースのうち、ハンバーガー売上表から条件にあてはまる売上数の合計を求めると 22 となった。実行したSQL文の に該当するものとして適切なものを、下の a～d から一つ選びなさい。

SELECT SUM (売上数) AS 売上数合計
FROM ハンバーガー売上表
WHERE

a 商品コード = 'S01' b 商品コード = 'S03'
c 取扱店コード = 'M02' d 取扱店コード = 'M04'

4 次の流れ図の説明を読み、流れ図の **セ** ~ **ツ** に該当するものを、次ページの a ~ e から一つずつ選びなさい。



処理内容

走り幅跳びの跳躍データを読み、走り幅跳び結果一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

出席番号	跳躍距離 (cm)
Ban	Kyo
××	×××

(第1図)

実行結果

走り幅跳び結果一覧表		
(出席番号)	(跳躍距離)	(合否)
01	450	合
02	399	否
⋮	⋮	⋮
40	410	合
(合格者数)		8
(合格者の平均跳躍距離)		430

(第2図)

処理条件

- 第1図の入力データを読み、跳躍距離が400cm以上の場合は合格とし「合」の文字を、400cm未満の場合は不合格とし「否」の文字を第2図のように表示する。
- 入力データが終了したら、合格者の平均跳躍距離を求め、合格者数と合格者の平均跳躍距離を表示する。

- Kei ÷ Goken → Hei
- $Kyo \geq 400$
- 0 → Kei
- “否” → Gohi
- Goken + 1 → Goken

【選択問題 高等学校】

第4問 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 商業編について1～5の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、「マーケティング」の内容とその取扱いに関するものである。□①□、□②□に入る適切な語の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。
- | |
|---|
| ア |
|---|

マーケティングに関する理論を実験などにより確認する学習活動及びマーケティングに関する□①□を設定し、□②□に基づいてマーケティング計画を立案して提案などを行う学習活動を通して、マーケティングに適切に取り組むことができるようにすること。

- | | | |
|---|----------|----------|
| a | ① 具体的な事例 | ② 科学的な根拠 |
| b | ① 科学的な根拠 | ② 具体的な課題 |
| c | ① 具体的な課題 | ② 科学的な根拠 |
| d | ① 科学的な根拠 | ② 具体的な事例 |

- 2 次の文は、「商品開発と流通」の内容とその取扱いに関するものである。□①□、□②□に入る適切な語の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。
- | |
|---|
| イ |
|---|

商品開発と流通の動向・課題を捉える学習活動及び商品開発と流通に関する具体的な事例について□①□に分析し、□②□を行う学習活動を通して、企業で行われている商品開発と流通について理解を深めることができるようにすること。

- | | | |
|---|-----------|-------------|
| a | ① 多面的・多角的 | ② 考察や討論 |
| b | ① 実践的・体験的 | ② 実験などにより確認 |
| c | ① 実践的・体験的 | ② 計画を立案して提案 |
| d | ① 多面的・多角的 | ② 実験や考察 |

- 3 次の文は、「グローバル経済」の目標に関するものである。 , に入る適切な語の組み合わせを、下の a～d から一つ選びなさい。なお、 は解答不要である。

商業の見方・考え方を働かせ、 な学習活動を行うことなどを通して、グローバル化する経済社会におけるビジネスの展開に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 経済のグローバル化について実務に即して に理解するようにする。
- (2) 経済のグローバル化への対応に関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて に解決する力を養う。
- (3) ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、グローバル化する経済社会におけるビジネスに に取り組む態度を養う。

- | | | |
|---|-----------|-----------|
| a | ① 体系的・系統的 | ② 積極的 |
| b | ① 創造的 | ② 積極的 |
| c | ① 創造的 | ② 体系的・系統的 |
| d | ① 体系的・系統的 | ② 創造的 |

- 4 次の文は、「ネットワーク活用」の目標に関するものである。 , に入る適切な語の組み合わせを、下の a～d から一つ選びなさい。なお、 は解答不要である。

商業の見方・考え方を働かせ、 な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスにおけるインターネットの活用に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) ビジネスにおけるインターネットの活用について実務に即して に理解するとともに、 を身に付けるようにする。
- (2) ビジネスにおいてインターネットを活用することに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて を養う。
- (3) の向上を目指して自ら学び、ビジネスにおけるインターネットの活用に に取り組む態度を養う。

- | | | |
|---|-------------|------------|
| a | ① 関連する技術 | ② 主体的かつ協働的 |
| b | ① 創造的に解決する力 | ② 実践的・体験的 |
| c | ① 関連する技術 | ② 実践的・体験的 |
| d | ① 創造的に解決する力 | ② 主体的かつ協働的 |

5 次の文は、各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱いの配慮事項に関するものである。□①□, □②□に入る適切な語の組み合わせを、下のa～dから一つ選びなさい。□オ□

地域や産業界等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や□①□を積極的に取り入れるとともに、□②□を積極的に活用するなどの工夫に努めること。

- a ① 講師による講演や助言 ② 職業人
- b ① 最新の知識、技術 ② 職業人
- c ① 就業体験活動 ② 社会人講師
- d ① 最新の知識、技術 ② 学校のもつ施設・設備

【選択問題 特別支援学校】

第4問 次の1～4の問いに答えなさい。

- 1 次の文は、令和3年6月に文部科学省より示された「障害のある子供の教育支援の手引～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」の「第1編 障害のある子供の教育支援の基本的な考え方」の一部である。文中の ～ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

合理的配慮は、「障害者の権利に関する条約」第2条の定義において提唱された概念であり、その定義に照らし、我が国の学校教育においては、中央教育審議会初等中等教育分科会報告において、合理的配慮とは、「障害のある子どもが、他の子どもと に『教育を受ける権利』を享有・行使することを確保するために、学校の設置者及び学校が必要かつ適当な変更・調整を行うことであり、障害のある子供に対し、その状況に応じて、学校教育を受ける場合に に必要とされるもの」であり、「学校の設置者及び学校に対して、体制面、財政面において、均衡を失した又は過度の を課さないもの」と定義されている。なお、障害者の権利に関する条約において、合理的配慮の否定は、障害を理由とする に含まれるとされていることに留意する必要がある。

- | | | | | |
|--------------------------------|--------|-------|-------|------|
| <input type="text" value="ア"/> | a 平等 | b 均等 | c 対等 | d 同等 |
| <input type="text" value="イ"/> | a 習熟度別 | b 学年別 | c 課題別 | d 個別 |
| <input type="text" value="ウ"/> | a 対応 | b 負担 | c 義務 | d 責任 |
| <input type="text" value="エ"/> | a 差別 | b 区別 | c 分離 | d 偏見 |

- 2 次の表は、令和3年10月に文部科学省より示された「特別支援教育資料（令和2年度）」の「第1部 データ編」の表の一部である。表中の ・ に該当する語句を、それぞれ下の a～d から一つ選びなさい。

出典：「学校基本調査」（文部科学省）
※中等教育学校の特別支援学級はなし。

- a 病弱・身体虚弱 b 自閉症・情緒障害 c 知的障害 d 言語障害

- 3 文部科学省の「学校教育法施行規則の一部を改正する省令等の公布について（通知）（平成28年12月9日）」にある平成30年4月1日より施行された「通級による指導」に関する内容に該当するものを、次の a～d から一つ選びなさい。

- a 知的障害者を対象とする通級による指導の制度化
b 情緒障害者を対象とする通級による指導の制度化
c 幼稚園における通級による指導の制度化
d 高等学校における通級による指導の制度化

- 4 平成29年4月告示の「特別支援学校 小学部・中学部学習指導要領 第7章 自立活動」に記載されている自立活動の内容について、次の(1)～(6)の区分に該当する項目を、それぞれ下のa～cから一つ選びなさい。

(1) 健康の保持	ク	(2) 心理的な安定	ケ
(3) 人間関係の形成	コ	(4) 環境の把握	サ
(5) 身体の動き	シ	(6) コミュニケーション	ス

- ク**
- a 身体各部の状態の理解と養護に関すること。
 - b 感覚や認知の特性についての理解と対応に関すること。
 - c 日常生活に必要な基本動作に関すること。

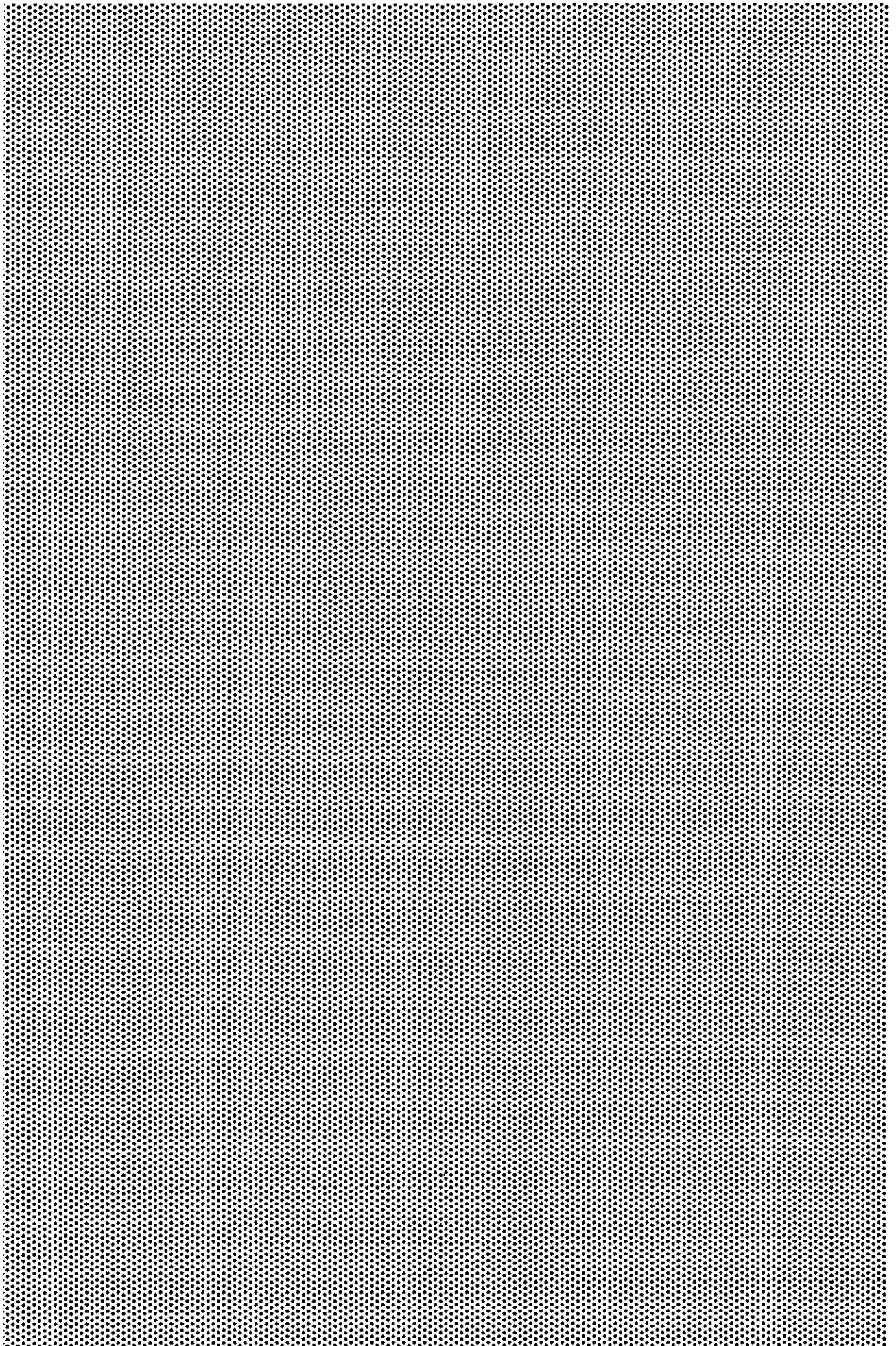
- ケ**
- a 状況の理解と変化への対応に関すること。
 - b 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること。
 - c 自己の理解と行動の調整に関すること。

- コ**
- a 情緒の安定に関すること。
 - b 他者の意図や感情の理解に関すること。
 - c コミュニケーション手段の選択と活用に関すること。

- サ**
- a 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲に関すること。
 - b 身体の移動能力に関すること。
 - c 感覚の補助及び代行手段の活用に関すること。

- シ**
- a 姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること。
 - b 保有する感覚の活用に関すること。
 - c 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること。

- ス**
- a 集団への参加の基礎に関すること。
 - b 言語の形成と活用に関すること。
 - c 健康状態の維持・改善に関すること。



<解答上の注意>

出題内容により解答方式が異なります。問題の「ア」、「イウ」などには、数字(0~9)、小数点(.), 符号(-, ±), 又は文字(a, b, c, d, e)が入ります。解答欄のア, イ, ウ, …のそれぞれが、これらのいずれかに対応します。下の(例1)~(例4)に従って解答欄をマークしてください。

(例1) 「アイ」に12と答えたい場合

ア	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
イ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

(例2) 「ウ」にbと答えたい場合

ウ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

(例3) 「エオ」「カキ」に34.56と答えたい場合

エ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
オ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
カ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
キ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

(例4) 「クケ」に7と答えたい場合

ク	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±
ケ	a	b	c	d	e	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	.	-	±

なお、一つの解答欄に対して、二つ以上マークしないでください。

6 筆記審査(専門教養)が終了した後、解答用紙(マークシート)のみ回収します。監督者から指示があれば、この問題冊子を、各自、持ち帰ってください。